

2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名 株式会社セレス 上場取引所 東
 コード番号 3696 URL <https://ceres-inc.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 都木 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼 管理本部長 (氏名) 小林 保裕 TEL 03-5797-3347
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績 (2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	9,598	23.8	809	111.4	814	50.1	385	△10.4
2019年12月期第2四半期	7,755	—	382	—	542	—	429	—

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 622百万円 (54.7%) 2019年12月期第2四半期 402百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	34.76	34.36
2019年12月期第2四半期	38.95	37.83

(注) 2018年12月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	14,444	6,984	44.8
2019年12月期	12,902	6,581	47.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 6,469百万円 2019年12月期 6,099百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	12.0	1,050	19.3	1,000	26.2	400	433.9	36.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 2 Q	11,543,000株	2019年12月期	11,487,600株
② 期末自己株式数	2020年12月期 2 Q	481,196株	2019年12月期	420,396株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 2 Q	11,078,453株	2019年12月期 2 Q	11,030,191株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が世界的なパンデミックとなったことで、わが国経済だけでなく世界経済にも大きく影響を及ぼし、極めて厳しい状況にあります。また、雇用情勢も厳しさを増すなど、景気の先行きについては今後も厳しく、不透明な状況が続くものと見込まれております。一方、携帯電話市場においては、2019年の総出荷台数に占めるスマートフォンの割合が88.8%と継続的に上昇しております（注）。スマートフォン端末の普及に伴い、スマートフォン広告市場についても継続的に拡大しております。

このような環境の中、当社グループは「インターネットマーケティングを通じて豊かな世界を実現する」という企業理念のもと、「自社の運営するメディアの利用価値を最大化する」というミッションを実現することを目指しております。

当第2四半期連結累計期間においては、巣ごもりやポイ活トレンドの好影響により当社グループが運営するポイントサイト「モッピー」でトラフィックや会員数が増加したこと、及びアフィリエイトプログラムにおけるD2C（Direct-to-Consumer）クライアントとの取引拡大が継続していること等により、新型コロナウイルス感染症の影響は軽微に留まり、売上高が引き続き伸長しました。利益面では、売上高の増加に加えて、連結子会社である株式会社ゆめみにおける人材への先行投資一巡に伴う利益貢献や、関連会社であるビットバンク株式会社の業績が堅調であった一方、非連結子会社の株式評価損や株式会社ゆめみのリモートワーク推奨による一部のオフィス解約に伴う損失を計上しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は9,598,335千円（前年同期比23.8%増）、営業利益は809,088千円（同111.4%増）、経常利益は814,668千円（同50.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は385,102千円（同10.4%減）となりました。

（注）株式会社MM総研の発表資料によっております。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

モバイルサービス事業

モバイルサービス事業は、日本最大級のポイントサイトである「モッピー」に加え、自社アフィリエイトプログラム「AD.TRACK」やポイントサイト以外の各種コンテンツメディアの運営、及び連結子会社である株式会社ゆめみで構成されております。「モッピー」においては、QUOカードPayとのポイント交換開始等の取り組みにより、継続的にポイントの利用価値向上に取り組んでまいりました。また、多様な集客方法により会員数が増加したことに加え、会員の利便性向上を目的としたポイントの獲得手段の増加、各種キャンペーンの実施等、継続的なサイトの改良に取り組んでまいりました。加えて、アフィリエイトプログラムについても自社メディアの媒体力の活用やクライアントの新規開拓等の取り組みにより取扱高の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるモバイルサービス事業の売上高は9,602,074千円（前年同期比26.0%増）、セグメント利益は1,320,377千円（44.2%増）となりました。

フィナンシャルサービス事業

フィナンシャルサービス事業は、暗号資産（仮想通貨）関連事業、スマートフォン決済事業、投資リターンを得ることを目的とした投資育成事業を行っております。ポイントサイトで当社の発行するポイントは現金や電子マネーに交換可能との観点からは一種の暗号資産（仮想通貨）であると認識しており、現在流通する各種暗号資産やその要素技術であるブロックチェーン技術をいち早く活用することで、新たな事業を生み出すことが可能であると考えております。このような考えのもと、100%子会社である株式会社マーキュリーへの投資を継続し、暗号資産（仮想通貨）交換業の登録に向け、着実に準備を進めてまいりました。また、投資育成事業においては、社内の経営資源を活用し投資先支援を積極的に行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間におけるフィナンシャルサービス事業の売上高は3,631千円（前年同期比98.0%減）、セグメント損失は126,126千円（前年同期はセグメント損失181,450千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,541,960千円増加し、14,444,155千円となりました。これは主に売上の増加や借入れなどにより現金及び預金が1,301,893千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における総負債の額は、前連結会計年度末に比べ1,138,276千円増加し、7,459,177千円となりました。これは主にポイントサイトの事業規模拡大に伴いポイント引当金が233,081千円増加したこと、短期借入金が400,000千円増加したこと、及び長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が464,984千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ403,683千円増加し、6,984,977千円となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い385,102千円増加した一方、配当金の支払いにより154,940千円減少したこと、その他有価証券評価差額金が200,065千円増加したこと等によるものであります。

(キャッシュフローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末より1,304,576千円増加し、5,250,996千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、918,539千円（前年同期比74.6%増）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益718,925千円の計上、ポイント引当金の増加額233,081千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、201,840千円（前年同期比75.0%減）となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出87,527千円、投資有価証券の取得による支出47,733千円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、576,319千円（前年同期は232,587千円の使用）となりました。主な要因は、短期借入金の純増加額400,000千円、長期借入れによる収入920,000千円があった一方、長期借入金の返済による支出461,837千円、配当金の支払額154,834千円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期通期の連結業績予想につきましては、「2019年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」（2020年2月14日公表）で発表いたしました内容から変更はございません。

なお、当第2四半期連結累計期間の業績は順調に推移しており、新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響は、現時点においては軽微ではありますが、今後業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに発表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,941,550	5,243,444
受取手形及び売掛金	2,457,218	2,347,192
営業投資有価証券	1,279,434	1,652,414
商品及び製品	4,465	8,426
仕掛品	51,053	87,065
原材料及び貯蔵品	193,479	168,166
その他	414,953	330,432
流動資産合計	8,342,155	9,837,140
固定資産		
有形固定資産	413,661	383,478
無形固定資産		
のれん	1,200,303	1,157,271
その他	146,899	202,055
無形固定資産合計	1,347,203	1,359,327
投資その他の資産		
関係会社株式	722,748	651,920
その他	2,080,511	2,219,152
貸倒引当金	△4,084	△6,863
投資その他の資産合計	2,799,175	2,864,209
固定資産合計	4,560,040	4,607,014
資産合計	12,902,195	14,444,155
負債の部		
流動負債		
買掛金	756,877	838,873
短期借入金	800,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	708,709	856,158
未払法人税等	110,726	358,144
ポイント引当金	1,322,749	1,555,830
その他	1,011,797	779,951
流動負債合計	4,710,861	5,588,958
固定負債		
社債	425,000	370,000
長期借入金	1,062,610	1,380,146
資産除去債務	70,782	70,796
その他	51,646	49,277
固定負債合計	1,610,039	1,870,219
負債合計	6,320,900	7,459,177

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,825,948	1,848,733
資本剰余金	2,347,403	2,370,188
利益剰余金	1,768,022	1,962,169
自己株式	△7,805	△77,674
株主資本合計	5,933,568	6,103,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166,409	366,475
その他の包括利益累計額合計	166,409	366,475
新株予約権	7,920	4,525
非支配株主持分	473,395	510,559
純資産合計	6,581,294	6,984,977
負債純資産合計	12,902,195	14,444,155

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	7,755,268	9,598,335
売上原価	5,167,327	7,133,575
売上総利益	2,587,941	2,464,759
販売費及び一般管理費	2,205,265	1,655,671
営業利益	382,676	809,088
営業外収益		
受取利息	1,213	4,531
持分法による投資利益	145,150	17,071
その他	37,750	11,280
営業外収益合計	184,114	32,883
営業外費用		
支払利息	5,202	6,140
投資事業組合運用損	9,447	10,584
その他	9,554	10,577
営業外費用合計	24,204	27,302
経常利益	542,586	814,668
特別利益		
新株予約権戻入益	-	3,315
投資有価証券売却益	1,226	-
特別利益合計	1,226	3,315
特別損失		
減損損失	-	34,355
関係会社株式評価損	18,212	61,928
その他	-	2,773
特別損失合計	18,212	99,057
税金等調整前四半期純利益	525,601	718,925
法人税、住民税及び事業税	177,420	331,440
法人税等調整額	△66,517	△34,780
法人税等合計	110,902	296,659
四半期純利益	414,698	422,266
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,954	37,163
親会社株主に帰属する四半期純利益	429,653	385,102

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）
四半期純利益	414,698	422,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,321	200,065
その他の包括利益合計	△12,321	200,065
四半期包括利益	402,377	622,332
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	417,332	585,168
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,954	37,163

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	525,601	718,925
減価償却費	52,421	57,768
減損損失	-	34,355
のれん償却額	80,834	65,582
受取利息	△1,213	△4,531
支払利息	5,202	6,140
持分法による投資損益（△は益）	△145,150	△17,071
投資事業組合運用損益（△は益）	9,447	10,584
関係会社株式評価損	18,212	61,928
売上債権の増減額（△は増加）	△75,313	134,356
営業投資有価証券の増減額（△は増加）	9,670	△228,655
仕入債務の増減額（△は減少）	117,272	81,799
未払消費税等の増減額（△は減少）	57,415	△142,298
ポイント引当金の増減額（△は減少）	227,018	233,081
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△35,673	2,778
その他	△50,761	△51,499
小計	794,982	963,244
利息の受取額	736	7,338
利息の支払額	△5,277	△6,398
法人税等の支払額	△264,337	△45,645
営業活動によるキャッシュ・フロー	526,104	918,539
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△91,885	△27,075
無形固定資産の取得による支出	△52,622	△87,527
投資有価証券の取得による支出	△61,968	△47,733
投資有価証券の売却による収入	8,640	-
関係会社株式の取得による支出	△50,000	△41,928
関係会社社債の取得による支出	△500,000	-
敷金及び保証金の差入による支出	△63,325	△6,454
その他	4,797	8,878
投資活動によるキャッシュ・フロー	△806,365	△201,840
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	-	400,000
長期借入れによる収入	100,000	920,000
長期借入金の返済による支出	△315,328	△461,837
社債の発行による収入	150,000	-
社債の償還による支出	△30,000	△65,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	18,054	9,170
自己株式の取得による支出	-	△69,868
配当金の支払額	△154,002	△154,834
その他	△1,310	△1,310
財務活動によるキャッシュ・フロー	△232,587	576,319
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△512,848	1,293,018
現金及び現金同等物の期首残高	4,327,516	3,946,420
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	11,557
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,814,668	5,250,996

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループの業績への影響は、現時点においては軽微ではあり、固定資産の減損会計等その前提にて会計上の見積りを行っております。

ただし、今後、新型コロナウイルス感染症の収束時期やその他の状況の変化により、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	モバイル サービス事業	フィナンシャル サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,574,660	180,607	7,755,268	—	7,755,268
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43,281	—	43,281	△43,281	—
計	7,617,942	180,607	7,798,550	△43,281	7,755,268
セグメント利益又は損失 (△)	915,370	△181,450	733,919	△351,243	382,676

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△351,243千円は、セグメント間取引消去△12,984千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△338,258千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	モバイル サービス事業	フィナンシャル サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,597,544	791	9,598,335	—	9,598,335
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,530	2,840	7,370	△7,370	—
計	9,602,074	3,631	9,605,705	△7,370	9,598,335
セグメント利益又は損失 (△)	1,320,377	△126,126	1,194,250	△385,162	809,088

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△385,162千円は、セグメント間取引消去△1,359千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△383,803千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルサービス事業」において、当社の子会社である株式会社ゆめみのオフィスの一部解約により建物附属設備15,144千円、工具、器具及び備品635千円の減損損失を計上し、収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなったソフトウェア18,575千円の減損損失を計上しております。